

令和5年度第1回蓮田市社会教育委員会 会議録				
開催日時	令和5年10月26日(木)			
	午後1時30分 開会		午後3時00分 閉会	
開催場所	蓮田市図書館 2階 視聴覚ホール			
委員出席状況	氏名	出欠	氏名	出欠
	今井 和	出席	斎藤 敏夫	欠席
	田中 君子	欠席	宮下 よね子	出席
	栗原 均	出席	近藤 純枝	出席
	松本 直大	出席		
事務局出席者	西山教育長 (社会教育課) 横田生涯学習部参事兼社会教育課長、加藤副主幹、関口主査、一之瀬主査、大西主事、山崎主事 (子ども支援課) 水沼副主幹			
傍聴者	なし			
会議事項	議事 ・令和5年度の主な社会教育事業進捗報告について ・放課後子供教室について ・人材バンク設置要綱の見直しについて ・その他			
会議経過(議事の要旨)				
1. 開会 今井委員長より、挨拶を行った 西山教育長より、挨拶を行った。				
2. 自己紹介 委員及び事務局から自己紹介を行った。				

3. 議事

資料に基づき、事務局より以下の報告を行った。

- ①令和5年度の主な社会教育事業進捗報告について
- ②放課後子供教室について
- ③人材バンク設置要綱の見直しについて
- ④その他

【質疑・主な意見】

- ①令和5年度の主な社会教育事業進捗報告について

《委員》 成人式について、写真を撮るところが欲しいという要望があった。成人式と書いてある看板等、皆さんで写真撮影ができる場所などを作っていただけたらと思う。また、少年キャンプ推進事業について、史跡黒浜貝塚については皆さん非常に興味をもっている。昨年度中止となってしまい、非常に残念であるというお声も聞いている。皆さんのところにも届いているのではないかなと思う。そこで、ボランティアは今回5名ということだが、人数は足りるのか。

《事務局》 まず、1点目の写真スポットの関係については、昨年度も会場のハストピアの外に写真スポットを設置させていただいており、今年度も同様に写真スポットを設置することを考えている。続けて2点目の少年キャンプ事業のボランティアについては、小学生とその保護者10組の募集としており、学生ボランティア5名に加えて、社会教育課スタッフも対応にあたるので、運営できると考えている。

《委員》 少年キャンプ事業について、ボランティアスタッフのかたの年代や性別について教えてほしい。

《事務局》 ボランティアのかたは全員大学生で、男性1名、女性4名のかたに応募いただいている。

《委員》 放課後子供教室実施事業について、今実施しているのが平野小学校と黒浜南小学校の2校で、今後、他の学校にも協力を依頼していくということであるが、現時点で参加していただけるという学校はあるのか。

《事務局》 来年度からすぐに参加するという学校は現時点ではないが、今年度、各学校にご意見をお伺いに行っており、実現に向けてご相談させていただいているところである。現在2校で実施しているが、実際に放課後子供教室を運営してくださっているコーディネーターやボランティアのかたの育成が非常に重要であり課題であると考えて準備を進めているところである。

《委員》 放課後子供教室の実施にあたって、学校の先生の負担が大きくなるようにといった部分についてもご配慮いただけたらと思う。

《委員》 成人式実行委員会はどのように進められているのか。

《事務局》 実行委員会は基本的に月に1回開催している。式典が近づいてきたら、リハーサル等を実施する。また、普段はメール等でも連絡を取り合いながら進めている。

《委員》 実行委員会はリーダーとして十分に経験を積むための一つの重要な施策だと思っている。彼らに任せるとというのが一つのポイントだと思っている。ただ、あまり変なところに行かないように、周りが見守りながら進めていくというのが社会教育課の皆さんの役割だと思っている。

②放課後子供教室について

《委員》 現在実施している平野小学校と黒浜南小学校で活動内容が随分と違うのはなぜか。

《事務局》 活動の内容については、それぞれのボランティアのかたにお任せしているため、活動してくださっているボランティアのかたの活動の組み立て方によって活動内容が異なっていると考えている。

また、黒浜南小学校は学校応援団の活動が非常に充実しており、地域の方々が学校に非常によく関わってくださっている。そのため、学校応援団のかたが実施する絵手紙や折り紙、こども遊びが中心となっている。対して平野小学校は学校から勉強も見てほしいという要望があるため、自由あそびと勉強

の両方を実施している。そのため、2校で活動内容が異なっている。

《委員》 2校の参加者数にも随分と数に開きがあるように思える。

《事務局》 平野小学校は学校側から、コーディネーターのかたに、勉強も見て欲しいと要望をしているため、学校側がより児童に参加を促しているという部分があると思う。また、黒浜南小学校はクラスごとに活動日を分けて実施しているので、参加平均で見ると少なくなっている。

《委員》 活動時間は何時から何時までなのか。また、活動時は何人くらいのスタッフで対応しているのか。

《事務局》 平野小学校については14時30分頃から低学年が来始めて、16時30分頃に3年生までは終了。高学年はもう少し遅い時間から来始めて、17時30分に終了している。スタッフ数は6～7人で実施している。

黒浜南小学校は14時50分から15時30分で実施している。学校応援団のかたに実施していただいております、1～3名程度のスタッフのかたに講師として参加いただいている。

③人材バンク設置要綱の見直しについて

《委員》 市役所に行かないと名簿が見られないのはネックだろうと思う。ホームページには名簿を掲載するだけでなく、自己PRなども掲載したほうが良いのではないかと思う。ただ、名前と活動内容を記載しているだけだと、引っかけられないのではないかと思う。様々な特技や技術を持っているかたが蓮田にはたくさんいると思うので、その人たちと地域をつなげるためにも、もっと見えるようにしていかなければならないと思う。

《委員》 QRやLINE等の活用は非常に画期的であると思うが、得意な人と苦手な人がいる。得意な人はSNS等を使用して、苦手な人は、冊子等使用するという棲み分けをすることが大切だと思う。

④その他

埼玉葛郡市社会教育振興会の今後の予定について確認した。

4. 閉会

横田生涯学習部参事兼社会教育課長より、閉会挨拶を行った。